
K. I

くるりん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

K. I

【Nコード】

N9946N

【作者名】

くるりん

【あらすじ】

K. I ↓ ケイアイ ↓ 敬愛 という意味をこめてみました。

ありがとう
と

言える相手を

もし1人だけ選べるのなら

私はあなたを選びます

どうして

何度も繰り返し

どうしてあなたがそばにいたとき

どうして伝えなかったのか

今なら言えます

間違いなく

ただありがとうだけ

私がありがとうと言え

あなたは微笑むでしょうか

何度も繰り返し

あなたはうつむくでしょうか

そして

照れたように言うでしょうか

ごまかすように言うでしょうか

こちらこそ、と

私がこの世に生まれたときから
あなたはずっといてくれました
当たり前のようにいてくれました
あなたの顔も

あなたの声も
心からの笑顔も
寂しげな微笑みも
ずっと私の隣にありました
それが当然だと
疑うこともしませんでした

畳の上に座り込んで
窓から見える夕暮れと
一緒にたたんだ洗濯物
そして目を細めあなたは語る
私が知らない昔の話
あなたと同じにおいがする
優しい優しい昔のお話

思えば私は知りません
あなたの涙を知りません
あなたはいつも笑っていました
私の前では笑っていました
あなたも涙を流すことを
幼い私は知りませんでした

つらいことがあったとき
悲しいことがあったとき
起き上がりがたくなかったとき
目を閉じていたいと思ったとき
それでも地球は回っていて
だれかが私を好きでいる
そう考えたとき いつも
真っ先に浮かぶのはあなたでした

大好きでした

大好きです

いくら言ってもたりません

ありがとう

きっとあなたがいなければ

私は少し違った私で

少し違った愛の形を

胸に抱いて生きていたでしょう

そして私がいなければ

あなたに出会うこともなく

だから私は感謝します

私をここにいさせてくれる

全ての物に感謝します

あなたがいてくれるかぎり

絶えない感謝をそそぎます

信じています

信じます

これからもずっと

ずっとずっと

信じているからこそ言えます

ありがとう

ごめんなさい

泣きそうです

それでも言います

ありがとう

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9946n/>

K. I

2010年10月10日14時57分発行